

桃太郎フォーラム2026

研究力の一層の強化を重要な政策課題として国が掲げ、「博士人材」をめぐる多様な施策を展開しています。「科学技術・イノベーション基本法」および同法に基づく「科学技術・イノベーション基本計画」を基盤とする動向を踏まえ、文部科学省では「博士人材活躍プラン～博士をとろう～」において、博士人材がアカデミアにとどまらず多様なフィールドで活躍する社会の実現を目指しています。具体的な政策として示されていることは、学部から大学院への組織整備・移行、博士課程在籍者・博士号取得者の増加、多彩なキャリアパスの開発、そして支援策の拡充など、広範に及ぶものです。その一方で、博士課程教育の水準（カリキュラム、学位審査プロセス）や国際化、質保証（教育成果）などについては、課題解決が急がれています。

また、大学等が開催するフォーラムやシンポジウムでは、博士人材への期待や支援策等が取り上げられる機会は増えているものの、博士課程教育そのものに十分踏み込んだ議論は、必ずしも多いとはいえません。博士人材をめぐる政策や支援が拡充する今だからこそ、あらためて「教育としての博士課程」に目を向け、その現状と課題を丁寧に捉え直すことが必要でしょう。

そこで本フォーラムでは、博士課程教育に関する多角的な知見をお持ちの登壇者をお招きし、それぞれの立場からご報告をいただきます。議論を通じて、博士課程教育の現状と課題を見つめ直し、次代の博士課程教育をともに展望します。

日時

2026年 9月11日(金)
13時15分～17時15分

会場

岡山大学（津島キャンパス）
一般教育棟 A21 教室

バス停「岡大西門」より徒歩約7分

次代の大学院博士課程教育



お申し込み・アクセスは左の二次元バーコードから

https://www.inec.okayama-u.ac.jp/forum/forum2026_1/

(申込期間)

6月11日(木)～9月3日(木)



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

プログラム

12:45 開場

一般教育棟 A21 教室

13:15 開会

開会挨拶 菅 誠治 氏（岡山大学理事（教学担当）・上席副学長）

趣旨説明 田中 岳 氏（岡山大学副学長（教育・入試改革担当））

ライトニングトーク

各登壇者が、本フォーラムテーマでまず感じることをお話しします。（ライトニング：火付け）

13:40 事例報告 順序については調整中



各講演者のプロフィールはこちら

「博士人材を支える大学の教育・研究環境：諸外国の支援策から考える」

荒木 杏奈 氏（株式会社三菱総合研究所フロンティア政策本部科学技術・イノベーション推進グループ主任研究員）



「博士課程教育を考える：現場と内部質保証制度の狭間から」

立石 慎治 氏（筑波大学図書館情報メディア系助教 / 教学マネジメント室教育力向上部門長）



「行政から見た大学院教育」

並木 茂朗 氏（文部科学省高等教育局大学振興課大学院係長）



「博士人材及び博士キャリアのパラダイムシフト（再定義）」

町田 尚史 氏（岡山大学学術研究院共通教育・グローバル領域准教授）



15:40 休憩

15:55 パネルディスカッション

事例報告いただいた4名に加えて、本学の鶴田 健二 副学長（大学院教育改革担当）も合流し、指定討論として名古屋大学の丸山 和昭 准教授のコメントを皮切りに、本学の和賀 崇 准教授が司会進行を行います。



丸山 和昭 氏
（名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授）



鶴田 健二 氏
（岡山大学副学長（大学院教育改革担当） / 岡山大学図書館長 / 環境生命自然科学学域教授）



和賀 崇 氏
（岡山大学学術研究院共通教育・グローバル領域准教授）

17:10 閉会・閉会挨拶

三村 由香里 氏（岡山大学理事（企画・評価・総務担当））

主催

教学企画室

教学企画室は、岡山大学の理念・目的・目標に基づき、本学における教育の質の向上を図るとともに、中・長期的な方針の策定及び推進に資することを目的として、2022年4月に設置されました。

お問合せ

岡山大学学務部学務企画課
教育支援グループ

TEL 086-251-8426

MAIL daf8424@adm.okayama-u.ac.jp